

## 研究テーマ：音声を通しての単語、英文の定着

所属 高知県立安芸高等学校

氏名 池上 ちさ

R G S H 3

## 1 研究の背景

現在安芸中高等学校は、中高一貫教育がスタートして以来初めて中1生から高3生まで、全学年がそろったところである。私の担当する中1のクラスは男子 13 名、女子 27 名の計 40 名で、元気で活発な生徒が多い。

中学に入学して初めての英語に生徒は興味があり、期待も持っている。英語は楽しい、もっとわかりたいという向上心を持続させながら、定着させていくための方法を、この研修を通して考えていきたい。

## 2 リサーチ・クエスチョン

音声を通して単語、英文を定着させるにはどのようにすればよいのか。

## 3 予備調査

## 予備調査1 授業観察の結果

中学校に入って初めての英語学習に対して、前向きな気持ちを持った生徒がほとんどであった。初めは少しでもできたら達成感があるようなので、小さい目標を次々と与えることで学習意欲を持続させたい。

## 予備調査2 英語力を示すデータ

- ・ ローマ字の読み書き（名前、単語など）は十分できている。
- ・ 1 学期中に実施された英語検定試験で 4 級、5 級の合格者が出た。
- ・ 抜き打ち音読テストを実施し、個人の音読力を確認することができた。
- ・ 単元、各ページごとの確認テストで生徒の理解度を把握した。

## 予備調査3 アンケート、授業評価

入学当初に英語についてのアンケートを実施。小学校で ALT の先生との授業を体験した生徒がほとんどであった。授業評価では、楽しい、単語を覚えることができたなどの前向きな意見とあわせて、だんだん難しくなってきたのでがんばらなくてはという意見も出てきた。

## 4 仮説の設定

仮説1 音読によりローマ字からアルファベットへの移行ができる。

仮説2 音読により英文のイントネーションや文型を、文法を意識せずに定着できる。

仮説3 ペアで基本構文の質問と答えを練習させることで英文の定着を図ることができる。

## 5 計画の実践

- 1) 数字やアルファベットなど基礎になるものは発音にもこだわりながら読む。

(絵入りカードなどで視覚に訴えながら定着を図る。)

音読後すぐに文字にしてみる。(音で覚えたことを文字に結びつけるために。)

ALT の先生との発音、対話練習。

2) 単語と教科書全文をコーラスリーディングする。

対話文は教員と生徒、男子と女子など変化をつけて読む。

3) 基本構文の反復練習後、生徒各自が **Q&A** を作成し、友だちと答えを確認しながらロールプレイを行う。

## 6 実践の結果

文字と結びつけながらアルファベットを覚えたことで **Ka** と **Ca** のスペルが混同するようになることがあった。短い英文を読むことで、疑問詞 **What /How** が文頭に来ることなど意識せず定着しつつある。また、ペアワークでは友だちと教え合ったり、友だちのアイデアをもらって別の答えを導き出すなど良い傾向が見られた。

## 7 結果の検証

- ・ 音読により英語独特の音とつづりを覚えつつある。
- ・ 短い文や単語は定着しつつあるが、文が長くなると混同する場合がある。
- ・ 1 学期期末よりリスニングテストを取り入れたテストを実施した。

	1 学期中間 (6 月)	2 学期中間 (10 月)	2 学期到達度 (11 月)
リスニング	90%	74%	79%
語彙	70%	52%	44%
その他		93% (読解)	80% (対話)

リスニング力は維持しているが、内容よりは解答の仕方での間違いが多かった。一方で語彙力は下降の傾向がみられた。勉強の内容から見て、中途半端な暗記で終わっていたり、勉強のコツや仕方がわからないと思われる。これまで同様、実践を踏まえて具体的な方法を授業で示していかなければならない。また対話文は、繰り返し暗記を通して練習してきたことで、正確な読み書きは十分とは言えないが、内容は理解できているという結果が出た。12 月に 2 学期全体の範囲の単語のみのテストを実施したが、59%の正答率で語彙力の向上がみられた。

## 8 成果と今後の課題

コーラスリーディングにより、書くのは苦手でも英語を読むことの得意な生徒が力を発揮し自信を持つことができた。また、音読の苦手な生徒を引っ張ることになり、相乗効果をもたらした。音声と合わせて絵や文字など視覚に訴える教材の使用で定着率が高まることがわかった。特にジェスチャーを取り入れることで、更に印象に残り楽しく覚えているようだった。中 1 生は新しい単語・基本構文を一気に学習するので、様々な内容が混同してしまう。復習を繰り返して定着を図っていきたい。更に、より具体的な方法を示すことで、要点を押さえた学習に取り組みせたいと考えている。